

令和2年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,514	8,823	4,497	4,326	12	3
2 千 石	4,072	6,854	3,446	3,408	37	53
3 内 山	5,825	7,987	4,230	3,757	74	82
4 大 和	3,458	6,711	3,290	3,421	81	136
5 上 野	7,438	15,521	7,703	7,818	117	136
6 高 見	7,422	13,502	6,450	7,052	52	48
7 春 岡	7,055	11,086	5,809	5,277	54	70
8 田 代	11,553	21,939	10,567	11,372	38	30
9 東 山	10,465	19,545	9,656	9,889	40	60
10 見 付	4,344	8,035	4,056	3,979	23	31
11 星 ケ 丘	3,565	6,965	3,153	3,812	12	48
12 自 由 ケ 丘	3,542	7,150	3,257	3,893	18	21
13 富 士 見 台	6,479	15,286	7,100	8,186	14	34
14 宮 根	3,882	8,204	3,905	4,299	16	14
15 千 代 田 橋	3,718	8,448	3,971	4,477	16	7
千 種 区 計	88,332	166,056	81,090	84,966	604	773
R1.5.1	87,752	165,939	81,032	84,907	734	960
対 前 年 比	580	117	58	59	△ 130	△ 187
名 古 屋 市	1,127,131	2,330,138	1,150,279	1,179,859	4,483	5,261
愛 知 県 (R2.4.1)	3,255,393	7,542,632	3,773,444	3,769,188	8,958	△ 6,790

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	126	111	15	2,230	1,472	758

【参考】	国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
	昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
	昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
	平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
	平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の世帯数と人口増減の概況

令和2年5月1日現在の千種区の世帯数は前月比604世帯増の88,332世帯となっており、人口は前月比773人増の166,056人となっています。今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見ていきます。

令和元年10月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区(11,551世帯)、東山学区(10,485世帯)、高見学区(7,366世帯)となっています。世帯増加率(対平成22年10月比)を見てみると、千種区全体では9.1%で名古屋市全体(9.5%)を下回っています。千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、高見、千石、内山、春岡、千種、東山学区の順になります(図1)。

また、令和元年10月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区(22,061人)、東山学区(19,674人)、上野学区(15,432人)となっています。人口増加率(対平成22年10月比)を見てみると、千種区全体では3.7%で名古屋市全体(3.1%)を上回っています。千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山(+14.1%)、高見(+13.6%)、春岡(+7.5%)、東山(+6.6%)、千種(+5.9%)、田代(+5.3%)、千石(+4.1%)、自由ヶ丘(+2.3%)、星ヶ丘(+2.1%)、見付(+1.1%)学区の順となっています。

図1：千種区の学区別世帯増加率上位6学区(対平成22年比) 各年10月1日現在

